

早稲田大学 大学院法学研究科  
2021年度 修士課程入学試験問題(国内受験)  
【専修科目】

公法学専攻

国際関係法(公法)

以下の問題のうち、1つを選び、解答しなさい。

1. 国際法の法源としての慣習法の意義・形成要件について論じなさい。
2. 主権免除について、その歴史的展開や現代的な課題などを踏まえて論じなさい。
3. 国際司法裁判所が暫定措置を指示するための要件を説明し、暫定措置命令の意義と問題点を論じなさい。

答案の書き方(横書) / 縦書)

六法全書の使用を(認める) / (認めない)